

第2回仙台市地下鉄東西線駅名検討委員会 議事録

日 時 平成 25 年 7 月 19 日 (金) 13 : 15 ~ 14 : 35
会 場 仙台市交通局庁舎 7 階研修室
出席委員 宮原委員長、志賀委員長代理、相澤委員、加藤委員、佐藤憲子委員、佐藤万里子委員、橋浦委員、渡邊委員
欠席委員 紺野委員、中村委員
事務局 佐藤管理課長、白鳥管理課主幹、伊藤推進係長、加藤主任、結城主事

1 開会

○事務局 (佐藤管理課長)

定刻になりましたので、ただいまから第2回仙台市地下鉄東西線駅名検討委員会を開催いたします。

始めに、定足数の確認をさせていただきます。本日は、8名の委員が出席しておりますので、仙台市地下鉄東西線駅名検討委員会設置要綱第5条第2項の定足数を満たし、委員会が成立しておりますことをご報告いたします。なお、紺野委員・中村委員の2名の委員から、本日はご都合により欠席とのご連絡をいただいております。

また、ここで資料の確認をさせていただきます。本日、皆様のお手元には、次第、資料1から5まで、座席表、また、一昨日に開催しました東西線の全線貫通式に関する「全線貫通までのあゆみ」という資料を、それぞれお配りしております。その他、前回の検討委員会の資料のうち、今回のご議論に資するものと思われる参考資料4も、併せてお配りしております。もし不足がございましたらお知らせください。

それでは、これから議事に入ります。宮原委員長、議事の進行をお願いいたします。

2 議事

(1) 東西線駅名の選定基準について

○宮原委員長

それでは、これから第2回仙台市地下鉄東西線駅名検討委員会の議事に入ります。前回の検討委員会は、いわばガイダンスのような形で、皆さんと検討委員会の趣旨等について確認をし、また、東部の駅付近の状況や工事現場を見学いたしました。今日は、駅名選定基準の議事に入りたいと思います。皆さんからたくさんのご意見をいただきたいと思いますので、よろしく願いいたします。

まず、議事に入ります前に、本日の議事録署名委員の指名をさせていただきます。前回は相澤委員にお願いしましたが、引き続き五十音順ということで、今回は加藤委員にお願いしたいと思えます。よろしいでしょうか。

○加藤委員

はい。

○宮原委員長

ありがとうございます。

それでは、議事に入ります。お手元の次第をご覧ください。本日の議事は、「(3) その他」も含めまして3つありまして、次第の順番に進めてまいりたいと思います。

1番目は、「(1) 東西線駅名の選定基準について」ということで、事務局から説明をお願いいたします。

○事務局（伊藤推進係長）

はい。前回の検討委員会で、宮原委員長から、駅名選定基準についてのたたき台を事務局で用意してほしいというご依頼がありましたので、次第の次のページの資料1に基づき、事務局としての東西線駅名選定基準の案についてご説明いたします。

駅名選定基準は、今後、本委員会で駅名を審議していただく際の指標となるものでございます。そこで、事務局がお作りした選定基準案は、本市南北線や他都市の事例などを参考に4項目を設定いたしました。基本としておりますのは、①にありますように、駅周辺の地理的名称というものです。例としまして、駅の所在地や周辺の町名、公共施設、名所旧跡、山河、通り、公園などの名称を用いるようにする。または、この名称と、東西南北等の方角を組み合わせ、例えば南北線であれば、「長町南」というような名称とするものです。2番目としましては、難読名称は避けること。3番目は、字数が長い名称は避ける。4番目は、複数の駅で類似している同じような駅名は避ける。以上が、事務局としての駅名選定基準の案でございます。なお、一番下に記載しておりますが、仙台駅につきましては、現在ある地下鉄南北線仙台駅やJR仙台駅との位置関係を考慮しまして、この基準を適用しないで、現在の仮称駅名のまま「仙台駅」としたいと考えております。

続きまして、関連資料としまして、次の資料2について、ご説明いたします。これは、仙台市議会におきまして、今後駅名を決定していくにあたっての視点・留意点について、これまで何名かの議員の方々からご意見を頂戴しており、その内容をまとめたものであります。今説明しました資料の基準と共通する内容や、方向が異なる内容もございしますが、本委員会のご審議の参考としてご紹介したいと思います。大きく4項目に分類しております。まず、分かりやすく親しみやすい駅名とすること。どこにあるか分からない駅名とか、長い駅名にはしてほしくないとのご意見でございます。2点目は、地名の活用ということで、由緒ある町名を活かすことも必要だというご意見でございます。3点目は、将来の発展を志向した駅名ということで、必ずしも地名にこだわらず、開業への機運醸成のためにも、復興への希望や今後の発展を志向できるような駅名を、というご意見でございます。4点目は、人々の関心を高める駅名ということで、地下鉄に乗りたいという関心が呼び込める駅名でありますとか、地域の意見も取り入れ、柔軟な発想で駅名の決定を進める必要がある、とのご意見でございます。以上でございます。

○宮原委員長

はい。どうもありがとうございました。第1回目の検討委員会では、現在使っています仮称の駅名を仙台市がどのような考えに基づいて付けたかといったようなことや、南北線や比較的近年に開業した他都市の選定基準について、事務局から説明いただきました。今日また参考までに参考資料4という、前回の検討委員会の資料をお付けしてございます。また、委員の皆様にも、今回の検討委員会までにご覧いただくということで、前回は「地下鉄東西線の駅と沿線の歴史紹介」という資料もございました。これらを踏まえまして、さらに今、事務局からご説明いただいた資料も基にしま

して、本日、皆様とともに、事務局からいただいております駅名の選定基準案を審議し、選定基準を決めていきたいと思っております。事務局がたたき台として作成しました資料1や、関連するこれまでの資料に関することでも結構ですので、ご質問がありましたらお願いしたいと思いますし、委員の皆様お一人お一人から、いろいろな視点で駅名選定基準についてのご意見も積極的に頂戴したいと思っております。なお、本日ご欠席の紺野委員と中村委員から事前にご意見をいただいておりますので、まず皆様からご意見をいただく前にお二人のご意見をお伺いして、参考にしながらということを進めていきたいと思っております。事務局から説明をお願いします。

○事務局（伊藤推進係長）

はい。今日ご欠席の紺野委員と中村委員から、ご意見を事前に伺っております。

紺野委員からは2点伺っております。1点目は、市の西側、例えば国際センター駅付近ですと杜の都の風情が感じられるような地域がありますので、仙台らしさを表せる駅名を付けても良いのではないかと、というご意見でございます。2点目は、字数につきまして、長くても文字数にして5文字くらいまでが良いのではないかと、というご意見でございます。

また、中村委員からは3点ほどご意見を頂戴しております。1点目は、駅名によって場所が分かる、降りる駅が分かる、そのような駅名にすることが大事ではないかと、というご意見でございます。2点目は、施設名を駅名にしますと、その施設が移転した場合にどうするかという問題が気になっております、というご意見です。3点目は、いずれかの駅名に「広瀬川」という名称を入れても良いのではないかと、というご意見を伺っております。以上でございます。

○宮原委員長

はい。どうもありがとうございました。紺野委員と中村委員からそれぞれご意見をいただいております。文字数のことや、施設名を採用した場合に気になる点、また、「広瀬川」という名称を、といったようなご提案もいただきました。

事務局案としては、資料1に基づいて今説明がありましたように、「次の名称を総合的に考慮し、いずれかふさわしいものとする」として、a)、b)、c)、d)の4つの基準を考えております。また、避けるものとして、読みにくい・読めない名称や、長い名称、複数駅で似通った名称、といったようなものも基準にしてはどうか、ということでございます。

このことについて、皆さんからいろいろご意見をいただきたいと思います。どなたでもよろしいですが、いかがでしょうか。佐藤憲子委員からお願いします。

○佐藤憲子委員

事務局で作っていただいた基準案に関しては、概ね良いのではないかとというのが私の考えです。それから、紺野委員と中村委員からご指摘のあった「仙台らしさ」というものは、もしできるのであれば、どこかに取り入れていたら良いのかなという気持ちはあります。それから、施設名についてのご指摘ですが、今、仮称として国際センターという駅名がありますが、地名としては青葉山ですし、ここの名称がどのようになるのかなという感想を持って聞いておりました。以上でございます。

○宮原委員長

はい、ありがとうございました。

○橋浦委員

私も、基本的には事務局案を軸にして良いのではないかと、というのが大原則でございます。ただ、もう1つ加えて、今後この基準に基づいて駅名募集も行うと聞いておりますので、その場合の混乱を避けるためにも、特定の個人や特定の団体の利益にならない、ということも重要ではないかと考えております。駅の近くの例えば特定の商業施設であったり、また、学校についてもいろいろ考え方はあるかと思いますが、その辺は十分考慮する必要があるのではないかと考えますので、文章表現としてどのようなニュアンスにするかということはあると思いますが、特定の個人や特定の団体の利益にならないという基準も付け加えた方が良いと思います。

○宮原委員長

はい、ありがとうございました。これは加えるという形ですね。

○橋浦委員

駅名募集を行うと結構適当な意見が出てくるおそれもあるので、利益誘導ということになるような自分の所属している団体などの名称は外す必要があると思います。特定の商業施設や特定の団体の利益になる名称を用いるということについては、現在、南北線で駅名のアナウンスの後に「〇〇に行く場合にはこちらが便利です」という放送をして広告収入を得ておられますので、将来の収入の道ということを考えても、特定の団体に関しては、そのような形でお金を払っていただいてアナウンスの中に入れていくという方法もあるのではないかと思います。

○宮原委員長

はい、ありがとうございます。他にいかがでしょうか。では相澤委員、お願いします。

○相澤委員

基本的には事務局の考え方でよろしいのではないかと思います。参考までに、JR 東日本でも駅名決定はたまに行っておりますが、そのときに、選ぶ方法とか気をつけることとしてあるのが、例えば、果物や、四季の限定される名称、人名といったものは、基本的には選ばないようにしているという現状があります。ただ、私どもの場合は、JR 東日本として駅名の最終決定をいたしますが、地元のご要望などもありまして、山形新幹線のときには、さくらんぼ東根駅という駅ができていますし、斎藤茂吉記念館の前は茂吉記念館前という駅名だったり、請願新駅という形で作らせていただいた駅には、駅の建設費用を東北福祉大さんが出された関係で、仙山線に東北福祉大前駅があったり、といったような形で、地元の強い要望なども考慮しながら駅名を決めているというのが JR としての実状でございます。先ほど橋浦委員からありましたように、そういう意味では、利益誘導や長い駅名にはならないということは、東西線という公共性を考えるとふさわしいのかなと思っております。

○宮原委員長

はい、ありがとうございます。他にいかがでしょうか。それでは渡邊委員、お願いします。

○渡邊委員

私もこの基準で賛成ですが、さっきから何人かご意見が出ていますように、やはり施設名について気にかかっています。国際センターの周辺に、今度コンベンションホールができますよね。そうすると、公共施設が2つあるのに国際センター駅で果たして良いのかと思いますし。私は、仙台にはせっかく青葉城があるのにお城に関する名前が何もないですよ。あそこにせっかくお城があるので、お城に関わるようなことも考えていく必要があるのかなと思います。それから、読みやすい名前ということで、最終的にどこかにひらがなが入るのだと思いますけれども、子供でも読めるように分かりやすい駅名も大事かなとも思いました。

○宮原委員長

はい、ありがとうございます。他にいかがでしょうか。志賀委員から、いかがですか。

○志賀委員

私は、この原案につきましては、これでよろしいのではないかと思います。先ほど相澤委員からありましたが、このチャンスを利用するというのを、当然、企業も個人も考えると思いますので、やはり、あからさまな利益誘導へのブロックというものを考えておかないといけないかなと思います。

それから、個別の駅名について、以前疑問を持ちましてJRの方にお聞きしたことがありまして、「さくらんぼ」という名前がかなり斬新というか新しく良い名前だなと思いました。茂吉記念館については、通常、個人の名前は使わない、どんなに有名な人でも、例えば長嶋茂雄駅などとは使わない、という話を聞いたことがあるのですが、茂吉記念館は建物の名称ですので、目ぼしい観光資源として人を惹きつけるようなものであれば、建物の名前なら良いのかなとも思いました。

それからもう1つ。一番町という名前ですが、私は、「〇〇通り一番町」という名称を使った方が良いと思います。やはり、一番町だと、どこの一番町なのか分かりにくいと思いますので、「青葉通り一番町」や「広瀬通り一番町」というように、「〇〇通り」という名称を使うべきではないかと思います。いずれまた、そのような議論をする場があるのでしょうか。

さらに、これは駅名ではないのですが、東西線という路線名は今後もこのまま続いていくのでしょうか。大阪に行って「御堂筋線」といった名前を見ると、「ああ、いいなあ」と思うんですよ。「東西」と「南北」というと、住んでいる人にとっては分かりやすいのですが、味も素っ気も無くてどうかなと思うんですよ。「東西」というのは方角だけなのであって、生活感などは出てこないですよ。せっかくだから、私は、愛称でも良いので、味気というか、「東西」ではない名前があったらいいなと思っております。

○宮原委員長

はい、ありがとうございました。佐藤課長から何かありますか。

○事務局（佐藤管理課長）

はい。路線の名称はいろいろな事業名としても使われておりますし、都市計画決定された名称でもありますので、なかなかそれを変えるというのは難しいと思います。ただ、例えば横浜の場合、

ブルーラインとグリーンラインという愛称を付けておりますので、そのような付け方はあるのかなと思っております。

○宮原委員長

はい、ありがとうございます。南北線と東西線に、うまく愛称が付くといいですね。ご提案ありがとうございます。

○志賀委員

少し考えていただいた方がいいかもしれませんね。関心が高い事業ですから。

○事務局（佐藤管理課長）

検討してまいりたいと思います。

○宮原委員長

はい、ありがとうございます。

まだご意見をいただいている方にはこれからご意見をいただきますが、今のところ、皆さん、事務局案で概ね良いのではないかとということと、ただし、一個人や特定の団体の利益誘導にならないように配慮すべきということも付け加えると良いのではないかと、ということになります。佐藤万里子委員、いかがでしょうか。他の観点からでも結構です。例えば歴史的なことや、他の委員からは「仙台らしさ」という観点のご意見も出ていますが、いかがでしょうか。

○佐藤万里子委員

はい。私も、事務局が作った選定基準は良いと思います。

また、やはり「広瀬川」という名前をどこかの駅に欲しいなとも思います。広瀬川は仙台市内を広域的に流れておりますけれども、東西線の路線を見ると川内や青葉山など、そちらの方が、広瀬川を代表するような地域ですので、そのようなところに入れたらいいなと思いました。次の議題に「市民意見募集について」というのが挙がっていますが、やはり、もっと市民の方に関心を持っていただいて、それで皆さんに乗っていただけるような駅名を考えていきたいな、と思います。

○宮原委員長

はい、ありがとうございます。それでは、加藤委員、お願いします。

○加藤委員

基準の大筋はこれで問題ないと思うのですが、b) と c) の「公共施設名」や「名所旧跡」というものに関して、少し疑問に思いました。国際センターの周辺もそうですが、あの辺りには仙台城もありますし、博物館、美術館、川内キャンパスと、いろいろな施設がありますので、「国際センター」という駅名にした場合に、市としては国際センターを一番に考えていますという方針になるということだと思うのですが、周囲に1つしかなくてこれが駅名として分かりやすいという状況なら良いのですが、複数ある場合にどのように優先順位を付けていくかというのは一つ気になる場所ではあります。あとは、文字数ですね。「長い名称は避ける」ということですが、仙台ではバス停

に長い停留所名を付けている例が多いので、長い名称でも分かりやすくなる場合もあるのではないのでしょうか。なので、必ずしも長い駅名が悪いのかというところとちょっと疑問に思うところです。あとは、施設名を駅名にした後にその施設が移転した場合ですが、東京では、大学が移転してしまっても大学の名前が残っている例もありますので、近いうちに移転するという施設でなければ、一旦施設名を駅名に付ければ沿線の人たちに定着するということが考えられますので、公共施設の名前であれば良いのではないかと考えています。

○宮原委員長

はい、ありがとうございました。皆さんから一通りご意見をいただきました。

私もこの選定基準については、概ね良いと思っております。

市議会からは、「分かりやすく親しみやすい駅名」や「地名の活用」といった点についてご意見がありました。それから「将来の発展を志向した駅名」というご意見ですね。震災後の時代を映すような駅名といたしますか、そのような方向性もあつたら良いのではないかとご意見です。また「人々の関心を高める駅名」といった点についてのご意見もありました。特に仙台駅から東側の地区は、観光にしても、これから盛り上げていきたいと思いますということで様々な活動がされてきたところだと思うんですね。西側はもちろん仙台を代表するような様々な施設があるわけなのですが、そのような、例えば西や東で駅名のコンセプトを変える、といった考え方というのはいかがでしょう。そういう要素を基準に載せていくという方法も考えられるかもしれませんが、この点、何かご意見ありましたらお願いいたします。佐藤万里子委員、いかがでしょうか。

○佐藤万里子委員

西と東で顔が全く分かれると思うので、そういうコンセプトで基準を考えていくのも面白いかなと思います。

○宮原委員長

佐藤憲子委員、いかがですか。

○佐藤憲子委員

私は全然そういう発想がなかったので、今お話を聞いてなるほどと思ったのですが、仙台の先のことを考えた視点をこの基準の中に少し入れていくのであれば、今おっしゃったような考えも、市民の方にとっても興味深いと思います。基準の中で一つ項目を立てていくことになるのかなという気がします。

○宮原委員長

はい、ありがとうございます。他にいかがでしょうか。

私は東京にずっといまして、仙台に来て以来、街の名前や駅の名前を考えることがあるのですが、「これはどういうふうにして付けたんだろう」、「どんな由来があるんだろう」ということは、他所の土地から来た人にとって結構興味深いことなんですね。そのうえで、歴史的な地名が付いている所は駅名からその歴史を想起することができますし、公共施設名が付いている所はそのような所に用事がある人にとっては非常に分かりやすくて明快だということもあると思います。一方で、読み

方が分からない、どうにでも読める、といった名称は、非常に難しいかなと思います。それは、例えば全て平仮名で表示してしまう駅名というものもどうなのかなと思うんですよね。今、東西線は仮称駅名ですが、例えば、読めないので平仮名の駅名にしてしまおうとか、そういう判断はどこでするのでしょうか。

○事務局（佐藤管理課長）

平仮名が良いとか悪いということはありませんが、基本的に駅名表記のうち主なものについてはルビを振るといってしておりますので、平仮名表記は主だった駅名表記には表示されることになろうかと思えます。

○宮原委員長

そうすると、基本的には、あえて平仮名の駅名にするということではなく、漢字の駅名にするというようなことでしょうかね。

○事務局（佐藤管理課長）

漢字にこだわってはおけません。

○宮原委員長

たぶん駅の施設の中はルビが振られると思うのですが、例えば、地図になったときや、こういう資料もそうですが、特にルビは振っていないわけですね。今のところ、どうとでも読める駅というのはないと思うのですが、その辺については例えば選定基準の中に入れるとすると、難読名称に入りますかね。

○事務局（佐藤管理課長）

「難読名称は避ける」という基準は、平仮名を入れるとか外すということにはつながりませんので、少なくとも、ひらがなを排除はしていないということになります。

○宮原委員長

他にご意見はいかがですか。

○渡邊委員

今、平仮名のお話をしていますが、例えば動物公園駅の場合に、zooとか横文字、そういう名前はお考えにはならないんですか。

○宮原委員長

英語ないしはカタカナ。

○渡邊委員

ええ、そうですね。カタカナ。

○事務局（佐藤管理課長）

駅名をアルファベットにすることはないとはいえますけれども、平仮名、カタカナは排除していません。

○宮原委員長

他にいかがでしょうか。

○加藤委員

今、平仮名や漢字の駅名という話が出たんですけれども、確か札幌だったかと思いますが、JRの駅名は漢字で「札幌」と書いて、地下鉄の駅名は平仮名で「さっぽろ」だったと思うんですね。仙台の場合は特にJRの駅と地下鉄の駅が離れていますので、今はどちらも「仙台」ですけれども、地下鉄の仙台駅はJRの仙台駅とは多少違う場所にあるというのを示す意味でも、今漢字のものを平仮名にするという考え方もできますし、あとは、川内駅というのは、仙台市民は「かわうち」と読むと思うのですが、九州に薩摩^{せんだい}川内市という市がありますし、そういう意味でも、川内については「かわうち」と読むのだということで、漢字ではなく平仮名を使うという方法はあるのかなど、話を聞きながら思いました。

○宮原委員長

もしかするとその辺も、決定するとき一度、漢字が妥当なのか、平仮名表記が妥当なのかという検討も必要になるかもしれないですね。

○事務局（佐藤管理課長）

今回の駅名選定基準に入れなかったとしても、最終的に駅名案を決定するとき、平仮名が良いとか、まずいとか、そのようなことも、皆さんで決定していただければと思います。

○宮原委員長

これをあえて、今回の選定基準の中に盛り込む必要はありますか。特にはよろしいですか。

○渡邊委員

「難読名称は避ける」のところを読めると思います。

○宮原委員長

はい、ありがとうございます。それから、今、仙台駅の取り扱いについて、ここに示されているのですが、加藤委員からは、位置関係や、区別をするためにということも考えると、少し表記を分けた方が良いのではないかというご意見もありました。

○事務局（佐藤管理課長）

今、南北線の仙台駅は漢字のままですので、そちらも変更するということになる、なかなか難しいこともあるのかなと思います。駅名の表記として平仮名だけという可能性も無いことはないと思いますけれども、先ほど申しましたように、必ずルビを振りますので、いずれにせよ平仮名を

付けるということになると思います。

○宮原委員長

他にいかがでしょうか。

○渡邊委員

荒井駅は、この震災を受けて、市民意見募集でどういう名前があがってくるか分かりませんが、将来について、「荒井」が良いのか、考えていかないといけないかなと思います。

○宮原委員長

今、そのような観点は、選定基準の中にはないですよ。所在地や地名、公共施設名、名所旧跡、山河、通りの名称、あと、位置関係と地名の組み合わせ、ということですね、南北線のときは、「語感が美しい名称」など、かなり主観的なものというか、センスを問われるようなものがあったり、あとは、いろいろな観点があって、今荒井の話が出ているように、これから発展していくところを表現していくとかですね、それは本当に客観的に伝えられるかどうかというのは難しいのかもしれないですけども。その点、いかがでしょう。JRさんでもそういった観点で、というのはありますか。

○相澤委員

うちの場合は、ないと思います。確かに、荒井地区は私も仙台市民ですがイメージが若干つかみにくかったりしていたので、先ほど委員長からありましたように、未来志向的なというのが、南北線でいうと、「地域住民に親しまれ、わかりやすい名称」という基準が、今回外されているというのは、何か理由があって、入れないほうがふさわしいという判断があったと理解してよろしいですか。

○宮原委員長

参考資料4の、南北線の選定基準の「② 地域住民の満足を得られること」の黒丸1個目「地域住民に親しまれ、わかりやすい名称」のところですね。

○事務局（佐藤管理課長）

今回は、特に南北線の「②」の基準に関係するような文言は入れておりません。地域住民の皆さんが全て同じような方向を向いていて、同じような名前でも満足されるということであれば良いのですが、必ずしもそういう状態ではないということもありますので、特にこういう表現は入れなかったということです。ただ、地域からの要望はもう既に何件かいただいておりますし、これからも出てくると思いますので、そういうご意見をなるべく活かすということはあるのかなと思います。

○宮原委員長

はい、ありがとうございます。他にご意見ありますか。

○橋浦委員

今、選定基準について話をしているということをもう一度確認しておきたいと思います。基準というからには、明確でなければいけないですよね。定義づけをしなければいけないわけですから。基準の中に曖昧なものが入ってくるというのは、基準としてはふさわしくないのではないかと思いますので、例えば「なんとなくワクワクするもの」といったものは基準にはならないのではないかと思いますし、未来志向という観点は分からないわけでもないですけども、表現方法をしつかりとよく練らないと、そういうことが基準にはならないのではないかなと、個人的な感想としては思いました。

○宮原委員長

はい。橋浦委員がおっしゃったように、今、基準ということで客観的に誰でも「そうだね」というところを作りましょうということですので、その点については、今のご意見のとおりで良いかなと思います。こういう形で、概ねよろしいでしょうか。

○委員一同

(異議なし)

○宮原委員長

では繰り返しますが、この選定基準案につきましては、資料1のとおりとし、①の中にa)、b)、c)、d)。それから、②、③、④。さらに加えて、文言は後で整理していただくことになりますが、特定の利益誘導という形での名称は避けることに配慮する、ということ。これを⑤として、付け加えてほしいということですね。それから、仙台駅については、この資料1の原案どおりにし、また、ルビ等で工夫していただくという形ですね。この案でいかがでしょうか。よろしいですか。

○橋浦委員

あとは「未来志向」という観点を入れるかどうか。

○宮原委員長

今、私は自分で言うおきながら引っ込めましたけれども、なかなか客観的な基準の部分では難しいかな、ということです。

○渡邊委員

どういうふうに街が反映していくかというのがまだ見えてこないですよ。あとは住んでいる人たちにとっては、「荒井」は残して欲しいという人たちも中にはいると思うので。

○宮原委員長

たぶん、市民意見募集を行うといろいろなご意見が出てくると思いますので、そこで決めていくということで良いのではないのでしょうか。誰もが納得するような基準を作るということになると、骨組みとしてはここまでのかなという気がします。志賀委員、ご意見ありますか。

○志賀委員

確かにいろいろな名前が出てくるのではないかということをおもいますと、応募のあった名称を仕分けする側から考えますと、シンプルにというのは分かります。判断基準は明確にしておいて、悩ましい名前が出てきたら選定をするときに別途考える、という余地を残しておくのが良いのではないのでしょうか。予測できないことも多いと思うので、決める側からすれば、非常にシンプルにしていけるような段取りをつけていったら良いのではないかなと思いますね。

○宮原委員長

はい、ありがとうございます。

よろしいですか、皆さんから。橋浦委員、いかがですか。今のお話。

○橋浦委員

先ほど言ったとおりで、やはり基準ですので、曖昧さを残しておかないということが大事で、あとは、せっかくの検討委員会ですから、出てきたものに関しては、定性的に我々の方で判断できる部分を残しておくという意味でも、曖昧な部分は基準の中には入れないほうが良いのではないかと思います。

○宮原委員長

はい、ありがとうございます。よろしいでしょうか。

○委員一同

(異議なし)

○宮原委員長

はい。それでは、検討委員会の意見としては今のとおりになります。

○事務局（佐藤管理課長）

事務局から1つだけ。「③ 長い名称は避ける」という基準について、先ほど加藤委員から、長くても良いのではないかというご意見もありましたが、橋浦委員からのご意見にもございましたように、「長い」という表現は明確ではないと言えるかとも思いますので、もっと明確な基準を示したほうが良いのでしょうか。

○宮原委員長

紺野委員から、文字数で5文字というご意見もありました。

○橋浦委員

検討委員会のさじ加減を残して、「長い名称は避ける」という基準は、分かりやすく良いと思います。常識の範囲で判断するという意味合いで、よろしいのではないのでしょうか。

○宮原委員長

いかがでしょうか。

○事務局（佐藤管理課長）

分かりました。このままでよろしいかと思えます。

○宮原委員長

はい。ありがとうございました。それではそのようにさせていただきます。また、この選定基準案に⑤の追加をお願いします。

（２）東西線駅名の市民意見募集について

○宮原委員長

それでは２点目の議題に進みたいと思えます。（「２）東西線駅名の市民意見募集」について、事務局からご説明をお願いします。

○事務局（白鳥管理課主幹）

はい。私から資料３と資料４を基にご説明いたします。

まず、資料３「東西線駅名の市民意見募集の実施要領（案）」についてです。

「１ 目的」としましては、地下鉄東西線の駅名案や意見等をより多くの方からお寄せいただいて、検討委員会の審議の参考にさせていただく、ということでございます。

続きまして「２ 募集期間」でございます。今月７月３０日から８月３１日まで、約１ヵ月間の予定で実施してまいりたいと思えます。なお、はがきによる応募の場合は当日消印まで有効ということで設定をしたいと思います。

「３ 募集内容」につきまして、東西線の駅名や、駅名に関するご意見、を募集いたします。

「４ 応募資格」は、どなたでも応募可としまして、市内にお住まいの方はもちろんのこと、市外から市内に通勤されている方等ももちろん対象となります。また、後ほどご説明いたしますが、電子メールや FAX など多様な形での応募受付も考えておまして、これは市外からの応募も想定したものでございます。応募の際には、住所、年齢、性別等もご記載いただく形で考えてございます。

続きまして「５ 応募基準」でございます。「以下の項目に当てはまる名称を応募いただく」ということで、今皆様にご議論いただいております駅名選定基準、一部追加もいたしまして、市民意見募集の際の応募基準は駅名選定基準と同一とさせていただきたいと思えます。

「６ 応募方法」につきましては、専用の応募はがき、郵便料金を交通局の着払いで負担する形の様式を作っておりまして、後ほど資料４でご説明いたします。また、電子メールと FAX についてはホームページにしっかり掲載しまして、様式等もダウンロードできる形で用意いたします。その様式を使うのがご面倒な場合には、任意の様式でも、とにかく駅名についてのご意見だということが分かるご応募については、お受けいたしましよという考えでございます。

「７ 募集案内兼応募はがき及び配布場所」については、地下鉄南北線の各駅や、市役所、各区役所、市民センター等の公共施設に配置してまいりたいと思えます。

「８ 応募者への留意事項」については、応募者のお名前は無記名とし、町名までのご住所や年齢等をご記載いただきますが、お一人で何通も応募するというのも物理的には可能でございます。

が、そうならないように、1人1回のみのお応募としていただくよう、応募用紙にはしっかりと明記をお願いしたいと思います。応募のあった名称は、検討委員会の審議の参考とさせていただくということで、多数応募のあった名称を正式駅名に決定するものではないということも、皆様にご理解いただけるよう説明していきたいと思っております。

「9 周知方法」につきましては、ホームページや、8月1日発行の市政だよりにも掲載したいと思っております。

次に、資料4の「東西線駅名募集案内兼応募はがき(案)」をご覧ください。表紙には「駅名募集」という大きなタイトルをつけまして、タイトル直下の囲みの中に、先ほども申し上げましたとおり、駅名をどのように決めていくかという趣旨を書いております。皆様からお寄せいただく内容は検討委員会の審議の参考とさせていただくものですということを記しております。応募はがきは、切り取って交通局の着払いでお出しいただけるものでございます。

中のページをお開きください。真ん中には、東西線の駅の配置が分かるようにして、かつ、どの辺りに駅が作られるかという位置関係も表しております。

左側に配置してあります応募はがきについては、先ほどお話ししましたとおり、住所、年齢、性別、をご記入いただく項目を設けております。また、今の仮称駅名で良いというご意見もあろうかと思っております。仮称駅名で良いという方は丸を付けていただく、という形にしております。また、仮称駅名以外でふさわしいと思う駅名や、ご意見がある場合に、ご記入いただく欄を設けてございます。

最後のページには、先ほど資料3のご説明でお話ししましたとおり、応募資格や応募基準等について書かせていただいております。その下に、現在使用しております仮称名の考え方を、ご応募いただく際の参考していただければということで、掲載いたしました。以上が、事務局でお作りした駅名募集案内兼応募はがきの案の内容でございますが、気になる点等がありましたらご意見等いただければと思います。

○宮原委員長

はい、ありがとうございました。今、資料3と資料4について説明いただきました。投票ではなく、これはあくまでも、いただいたご意見を検討委員会の審議の参考とさせていただこうということで、それをきちんと説明していただきながら、募集をしていきたいということでした。この資料3と資料4につきまして、何かご質問やご意見がありましたらお願いします。

○加藤委員

応募方法については、東西線のフェイスブックのページからも応募できると、より意見が集まりやすいのではないかとと思うのですが、いかがでしょうか。

○事務局(佐藤管理課長)

フェイスブックにおいても応募できるようにしたいと思います。

○志賀委員

配布場所については、多くの方に東西線に乗っていただいたり、気にしていただくことを考えると、例えば一番町の「ろっけんパーク」にも置いたり、交渉してでも「グリーンプラザ」に置くと

いうことも必要で、今説明のあった場所だけでは足りないのではないかと思います。市をあげて関心を持っていただきたいのだということをもっと考えていかないといけないと思います。大変かとは思いますが、例えば国際センターや博物館も含めて、いたる所で配布した方がいいのではないかと思います。

○事務局（佐藤管理課長）

実は、この資料3に明記した場所以外にも、仙台市の公共施設等を全部合わせますと50箇所以上の配布を考えております。それでもし足りなければ、バスの中にも置くということも考えていきたいと思っております。

○宮原委員長

他にご質問ございますか。

○橋浦委員

資料3の「8 応募者への留意事項」において、「応募数の多い名称を正式駅名とするものではない旨も、応募用紙に明記する」と書いてありますが、書いてないのではないのでしょうか。たぶんこの部分ではないかと思われるのが、資料4の表紙の、タイトル直下の点線囲みのところにある「検討委員会の審議の参考とさせていただきます」という文章がそれを意味していると思われるのですが、明記するとまで資料3に書いてあるのにこれでは明記ではないのではないかと思ったのですが、いかがでしょうか。

○事務局（佐藤管理課長）

はい、明記したいと思っております。

○宮原委員長

ご指摘ありがとうございます。他に何かお気づきの点、ございますか。

○加藤委員

2点ほどありまして、まずは配布場所について、先ほど公共施設やバスの中というお話がありましたが、いずれ使うことになるであろう例えば仙台一高の生徒であるとか、あとは東北大学の学生もかなり利用すると思われるので、そういう将来利用する人たちの意見というのもうまく聞くことができれば良いのかなと思っております。

2点目は、資料4の中の見開きページにおいて、青葉山駅の航空写真の箇所に「情報科学研究所」という表記がありますが、正しくは「情報科学研究科棟」だったかと思っておりますので、ここを直していただければと思います。

○宮原委員長

はい、ありがとうございます。

○渡邊委員

配布場所はこの程度では足りないと思いましたが、小学校の子供たちに配布してしまうと多くの応募があって收拾がつかなくなると思いますが、高校生はかなり地下鉄を使うと思うので、せめて高校生に届くように、できれば学校に直に持って行ってお願いするといったことをすると、いろいろな駅名が出てくるのかなと思います。高校生の発想は意外に面白いと思うんですね。その点、配布先をもうちょっと検討していただきたいと思います。私は小学生の子供たちにも応募して欲しいのですが。あと障害を持ってらっしゃる方たちにも届くようにしていただければと思います。

○事務局（佐藤管理課長）

少し検討させていただきます。できるだけ多くの方々に届くように配布したいと思います。

○宮原委員長

他にいかがでしょうか。

私は、資料 4 の最後のページで、「応募基準」と「現在使用している仮称駅名と、その考え方」について気になりました。現在の仮称駅名は、例えば一番町駅ですとサンモール一番町商店街とか、青葉山駅ですと東北大学ですとか、今回の新しい基準に照らし合わせると疑問を持ってしまうところも出ておりますので、「現在使用している仮称駅名と、その考え方」の右側に、当時の考え方と今回の選定基準は別な時期に決めた別な考え方ですということが分かるように、平成 12 年度時点で仙台市が決めたものだという文言を入れておいた方がいいかもしれませんね。

○事務局（佐藤管理課長）

そのように記載したいと思います。

(3) その他

○宮原委員長

他にいかがでしょうか。だいたい、よろしいですか。なるべく多くの人に応募いただけるような形で配布をしていただきたいということで、皆さんからもご意見をいただいております。また、今後の取扱いについて、応募用紙の文言に明確に入れていただきたいというご意見もいただきました。他によろしいでしょうか。それでは本日予定していました議事は以上になります。それでは、事務局からその他何かありましたらお願いします。

○事務局（白鳥管理課主幹）

はい、2 点ほどございます。まず 1 点目は、資料 5 をご覧ください。前回は荒井方面に現場見学をしていただきましたが、本日は、西公園駅・広瀬川橋りょう・国際センター駅の周辺を車窓からご覧いただいたうえで、今回は川内駅にて下車し工事現場を見学いただきたいと思います。その後、青葉山駅・動物公園駅の周辺を車窓から見てこちらに戻ってくるという形で予定しております。また、前回同様、工事現場を見学いただく際にはヘルメット等を着用いただくこととなりますので、事務局で準備をさせていただきます。時間は当初は 15 時出発を予定しておりましたが、若干早く進んでおりますので、14 時 40 分に 1 階にご集合いただければと思います。

2 点目は、第 3 回検討委員会の日程になります。今回の市民意見募集の結果を受けた後の委員会でございますが、具体的な日程につきましては、後ほど個別に調整させていただきます、準備が

整い次第皆様にあらためてお知らせしたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。事務局からは以上でございます。

3 閉会

○宮原委員長

ありがとうございます。それでは、これもちまして、本日の、第2回仙台市地下鉄東西線駅名検討委員会を閉会させていただきます。皆様、活発なご意見ありがとうございました。

○事務局（佐藤管理課長）

皆様より貴重なお時間を頂戴し、活発なご意見をいただきました。誠にありがとうございました。

議事録署名人

平成25年8月30日

仙台市地下鉄東西線駅名検討委員会 委員

加藤 優平